

## 2-7.2\_2

### 2) 見学旅行

#### 1 材料・応用化学科(旧物質生命化学科)

卒業研究に着手する前の工学系三年生が、実際の化学系、バイオ系工場を見学することにより、化学と工業製品との関係、企業の研究環境を実際に目で見て学び、見識を広げることを目的として、学部3年生による工場見学を例年行っている。しかしながら、令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実施することが困難だったために、中止の運びとなった。

## 2 材料・応用化学科(旧マテリアル工学科)

物質材料工学教育プログラム(旧マテリアル工学科)では毎年、学部3年生を対象として、学生個人がこれまでに修得した専門教育をさらに意義深いものにするために、材料に関連する企業工場見学を実施している。本年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて工場への訪問を控え、バーチャル工場見学とした。本教育プログラムに関連の深い5業界、6社のウェブサイトを選定した。鉄鋼関係として日本製鉄(株)と愛知製鋼(株)、非鉄金属関係として三菱マテリアル(株)、材料応用関係として本田技研工業(株)、軽金属関係として(株)UACJ、セラミックス関係として京セラ(株)のウェブサイトである。夏休み期間中に、学生に各ウェブサイトを開覧させ見学後は各業界の特徴や感想をまとめたレポートを提出させた。レポートに書かれた感想からは、実際の工場見学で得られる体験とは異なるものの、厳選されたウェブサイトを開覧することで多くの新しい知識が得られたという意見が多かった。

### 3 機械数理工学科(機械工学教育プログラム、機械システム教育プログラム)

例年、1年生の工学基礎実験の一環として研修旅行を企画しているが、新型コロナウイルスの感染拡大のため今年度も合宿研修の開催を中止とした。今後、中止した学年の臨時的な合宿研修を含め、次年度以降の合宿研修の開催を継続的に検討することになった。

4 土木建築学科(旧社会環境工学科)

4-1 土木建築学科(土木工学教育プログラム・地域デザイン教育プログラム)(2年生)

コロナ禍のため実施せず

5 土木建築学科(旧建築学科)

実施なし

## 6 情報電気工学科(旧情報電気電子工学科)

例年は九州コース・関東コースに分かれて企業訪問を行い、教員および技術職員が学生を引率する形式で行っていたが、令和3年度はCovid-19の状況により、東京電友会出前講義との合同開催でオンラインにて実施した。王准教授（3年副担任）が担当した。10月に就職担当教員を介して東京電友会担当者と電子メールにて連絡を取り合い、日程調整を行った。12月17日(金)3限目に、3年生および博士前期課程1年生全員を対象としてZoomを用いて行った。

東芝エネルギーシステムズ株式会社、富士通株式会社、株式会社日立製作所、NTTコムウェア株式会社、株式会社JDSC（日本データサイエンス研究所）より講師をお迎えし、OBによる出前講義を四部構成で実施した。第一部は各講師の業務紹介や一週間のスケジュール、今の仕事を選んだ理由についてご講話いただき、第二部は就職に関する学生からの質問にディスカッション形式で回答した。第三部はこれからの就職活動で取り組むべきポイントと秘訣について講師に語っていただき、第四部はZoomのブレイクアウトルームを用いて本音トークと称して講師と学生の就職活動相談を行った。

167名の学生が参加し、単なる会社説明会にならないように配慮することで、有意義な会とすることができた。また、参加学生に対して実施した事後アンケートでは、大多数の学生が「非常に役に立つ」と回答し、率直な感想やコメントを得ることが出来た。

以上のように、このような状況下においても、学生にとっても大きな刺激になったかと思われる、オンラインであっても実施してよかったと考える。技術者の声を聴くと同時に、進路選択のアドバイス等を頂く貴重な機会となり、今後の学習意欲の向上と進路設計、キャリアパス構築の大きな助けになるものと期待される。

7 機械数理工学科(旧数理工学科)

実施なし